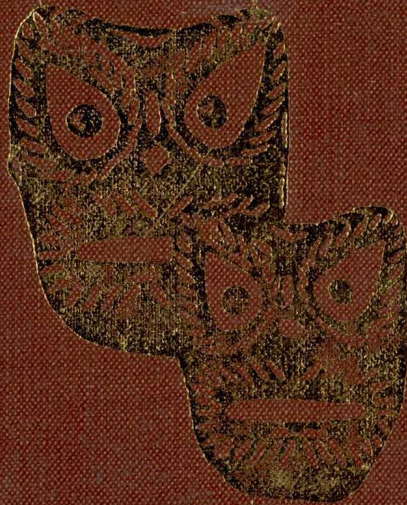


林四郎

野元莉雄

南不二勇

# 例解 新國語辭典

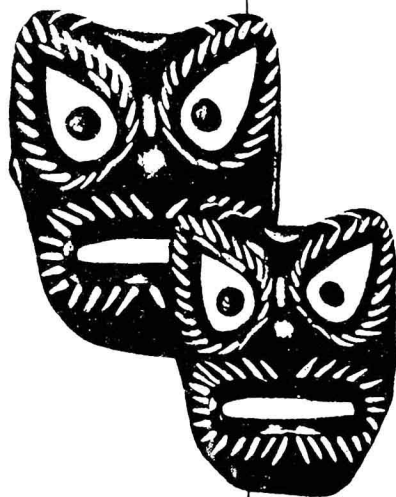


●編著

林 四郎

編修代表

野元菊雄  
南不二男



# 例解 新国語辞典

三省堂

1984 年 2 月 1 日 発 行



# 例解新国語辞典

定価 一、六〇〇円

一九八五年一月二〇日 第六刷発行

編著者 林 四 郎 (はやし・しろう)〔編修代表〕

野元 菊雄 (のもと・きくお)

南 不 二 男 (みなみ・ふじお)

発行者 株式会社 三省堂 代表者 上野久徳

印刷者 三省堂印刷株式会社

発行所 株式会社 三省堂

〒113 東京都千代田区三崎町二丁目二十二番十四号

電話 編集 (〇三) 三〇・九四二

販売 (〇三) 三〇・九四三

総務 (〇三) 三〇・九五二

振替口座 東京 六二五三〇〇

〈例解新国語・1,024 pp.〉

S 87/ 33 (116 2 174 )

例解新国語辞典

13G 000760

© 1984 Sanseido Co., Ltd.

Made and printed in Japan at the Sanseido Press, Tokyo

筑波大学教授 林 四郎(代表)

国立国語研究所長 野元 菊雄

国立国語研究所  
日本語教育センター長 南 不二男

東京外国語大学教授 国松 昭

東京学芸大学助教授 松岡 栄志

茨城大学教授 石綿 敏雄

早稲田大学教授 岩淵 匡

# とびらのことば

この辞書で

こんなことを

考えてください

ことは

ひとつのことは

このことは使って

どんなことがいえるだろう

どんなことばとくむと

力がでてくるだろう

ほかのことばでも

言い表わせるだろうか

ことは、使うためにあります

聞いたことは

読んだことは

出会ったことは

それは、どう使われていたのか

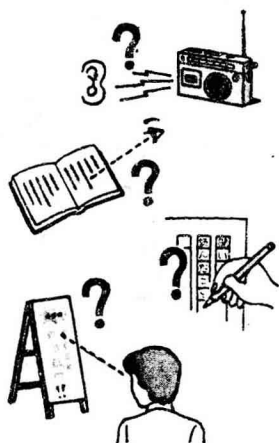
ことは、自分が、それをどう使おうか

「雨」↓空からの水滴  
そして、……？



「雨が——ふる」「雨が——やむ」「雨が——あがる」  
「雨に——ぬれる」「雨に——うたれる」  
「としやぶりの——雨」「しとしとふる——雨」

「ぼつぼつ来た」  
「タ立だ」



この辞書をつくりながら、

つくるわたしたちが、まず、

日本語を

見つけよう、見つけようとなりました

あなたは、前から日本語を知っています

でも、ことばの味わいは、いくらでもあります

もっと、もっと、日本語を見つけてみましょう

そうすると、

今までに利用してきた

国語辞典

漢和辞典

外国語の辞典

百科事典

それが、みんな、

もっとたくさん語りかけてきて、

さらに力強い友たちになるでしょう

あなたの世界は、どこまでもひろがっていきます



## この辞典を使う人のために

わたしたちは、日本語で育ち、日本語でものを考え、日本語で話し、日本語で文章を書き、わたしたちの文化をきずいています。日本語は、長い歴史のなかで、わたしたちの血となり、肉となって、わたしたちの存在そのものになっています。

辞書は、知識の宝庫といわれ、知らないことを知り、ふたしかないとをたしかめる、つえとして、また、柱として、むかしからいまままで、言語生活に欠かすことのできない道具として使われてきました。

この例解新国語辞典は、その伝統をふまえながら、ことばの意味と使いかたがわかるだけではなく、実際の文章や会話の表現に役だつように、ことばの世界がひろがり、日本語がもっとすきになって、ことばに関する興味と知識、教養が深まるように、という願いをこめて編修されています。生き生きとした豊かな日本語をつちかう、これは、あなたの辞典です。

(1) 見出しの語句は、日本語のもっとも基礎になる中学校の教材や中学生の読みものをベースに、生活のことば、学習のことば、教養のことばが選ばれています。科学や文化に関する用語や、人名・地名・文学作品なども、ことわざや故事成語、慣用語も、常用漢字も収められています。この見出しの語句のほかに、用例や対語・類義語の欄や、表現欄、囲み記事などで解説したことばを加えると、四万語をこえる数になります。このことばを、この辞典で、じっくり身につけていけば、知らないことばの意味がわかるだけでなく、知っていることばの意味や用法がさらに深く広くわかって、日本語の表現に直接役だっていくことでしょう。

(2) この辞典の見出し語のならばかたは、五十音順になっています。外来語は、原則としてかたかなでのせてあり、「ピース」「ベース」

「ボーイ」などの長音は、発音どおりにそれぞれ「ピース」「ベース」「ボオイ」のところにあらべてあります。同じかながならぶ場合は、

清音——濁音——半濁音(例:ひん——びん——ぴん)

直音——促音または拗音(例:かつて——かつて、きょう——きょう)

の順になっています。同音語には、見出しの上に番号がふつてありますので、どこまでが同音語かが、ひとめでわかるでしょう。なお、漢字の項目は、一般の項目と番号をかえてあります。

(3)

この辞典では、用例が主役のひとりです。実際の表現に役だつ、生きた用例が三段階にわけて示されています。文章や会話にそのまま活用することができず、もっとほかの表現ができるのではないかと、ということを考える手がかりにもなります。

■句例——ことばとことばの慣用的なむすびつきが示された、文をつくる上での直接の単位です。これに場面や条件をあたえて、いのある文章をつくってみましょう。この辞典に示された句例のほかに、もっと別のむすびつきがないかを考えていく、きっかけにもなります。なお、(一)のなかに、かんたんな解説を示したり、「積極的(な)行動」「ふんわり(と)つもる」のように、「な」や「と」がついてもつかなくとも使うことのできることを省略して示したりしてあります。

■文例——そのことばが実際にどういう場面で、どのように使われるかを例示したものです。ことばを適切な場面で、状況に応じて使う力がやしなわれる、いわば、ことばの現場にふみこむ、たしかなきっかけがわかります。

■語例——そのことばがどういうことばとむすびついて別のことば(複合語)をつくっていくかのサンプルが示されています。むすびつきが多いことばも、むすびつきがせまいことばもあることがわかります。必要に応じて(一)のなかに意味や用法、その複合語がさらにどういうことばとむすびつきやすいかが示されています。

(4)

ことばには、生きたニュアンスがあります。文の流れも、また、



場面もあります。

表現の欄は、そのことばの実際の使われかたや、似たことばとの関係、意味や用法のひろがりや制限などが示されています。この欄をじっくり読めば、そのことばの微妙なニュアンスや使いかたが身についてくるでしょう。この辞典の主役をはたす欄のひとつです。

(5) 参考の欄には、そのことばの由来や、表記・文法などの留意点が示されていますし、そのことばの文化的、社会的な背景や百科事典的な情報もわかります。

(6) この辞典のもうひとりの主役は、イラストです。ことばのイメージがひろがり、ことばの使用の場面やことばの表現のニュアンスがわかります。また、ことばが示す実体がわかるイラストも入っています。項目のなかにある  というしるしが、イラストへのガイド役です。さらに、「ページにわたるイラスト(いえ「ねこ」「みず」)、本文のあとにある『語彙のひろがり』の中の見開き二ページにわたるイラストで、ことばを立体的にとらえることができるでしょう。

(7) 助詞・助動詞といえ、なにかめんどくさいものだという印象がありますが、日本語の表現では、ことばどうしの関係や、話し手・書き手の気持ちを伝えるための大切なキーになります。日常生活のなかでの生きた会話が用例に示され、すっきりとやさしい解説とあわせて、理解と表現の世界へいざなってくれるでしょう。

(8) 対語や反対語、類義語がたくさん示されていますので、ことばのはばをひろげ、表現する力をつけてくれるでしょう。

(9) 大きな活字で示された常用漢字の項目で、漢字の使われかたや、その漢字がどういうことばをつくるのかわかります。部首や画数は、いま、いろいろな辞書でいろいろな立場がありますが、この辞典では現代人にいちばんわかりやすく、自然に理解できる示しかたがなされています。

(10) 筆順は、文字の全体の形がわかるように、いま書いている部分、これから書く部分、すでに書いた部分がそれぞれわけて示されていますから、全体のバランスを見ながら書くことができます。筆順は、

きれいで正確な字が書けることに目的がありますので、一つだけにきめられているわけでもありません。別な書き順がある字には※印がついています。

(11) 見出しの語句に示した表記の欄で、そのことばが、漢字やかなとともに、どういうふうに使われるかがわかります。標準表記は、一般の社会で、ふだん漢字がどのようにあてられているか、参考表記では、以前の文章ではどういう表記が使われていたかが示されています。さらに、用例の表記や参考欄をみれば、ことばの意味や場面によつては、漢字よりかなで書く方がいい場合があることもわかるようになっています。

(12) 同音語には、標準語のアクセントがついています。また、意味によつてアクセントにちがいはある場合には、参考欄でその使いわけが示されています。

(13) 古語は、現代語のふるさとです。現代語と古語とのつながりがわかるように、代表的な古語が、別わくに収められています。古典のゆたかな息づかいが伝わってくることでしよう。(次ページ索引参照)

(14) 表現とことばの理解や運用に役だつ知識や情報を、囲み記事が、たのしく語りかけてくれるでしょう。(巻末索引参照)

(15) この辞典のこまかな約束は、おもて見返しを見てください。

(16) この辞典は、編著者や編集委員(扉うら参照)のほかに、次の多くの方がたの御協力によつてでき上がりました。ここに、おなまえを記して、心からの感謝をささげます。

相原林司・安倍千之・石井みち江・井ノ内宏・氏家洋子・梅津彰人・遠藤裕子・大江一道・大木正義・岡崎和夫・小沢義正・小林一仁・沢木幹栄・滋野雅民・白井啓介・鈴木孝典・田沼将・都築秀行・寺岡 潔・中島友一・中道真木男・中山隆夫・名倉正博・林 博・平田嘉男・堀口純子・町田隆吉・町田守弘・山口仲美・山田 正・吉田夏生・渡部成哉、そのほかの方がた。それに、新しい創造へむけて、とりわけ困難な仕事を献身的になしとげてくださった、三省堂の編集部と三省堂印刷株式会社の方がた。





## あ〔漢字項目〕

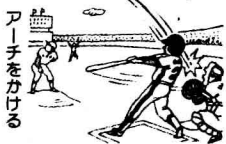
## 【亜】 全部6画 亜 亜 亜 亜 亜

ア①とく似ている。二番目の。■亜鉛(あびん)。■亜種(あしゅ)。■亜麻(あし)。■亜熱帯(あねつたい)。■亜硫酸(あしりゅう)。■壁(か)などの土古くは「壁」と書いた。■日亜(あひあ)。■亜細亜(アジア)の略。■欧亜(おうあ)。■東亜(あづま)。

1 ああ(副)「あれといえは、うん、あれがとわかるように。あんなら。あのとおり。因例「あいつまでも子どもでは困ってまう」アア

2 ああ(感)「おちきや喜び、なげきや悲しみなどの感情を直接表わすこと。因例「ああびっくりした」「ああよかった」「ああ、すばらしい」「ああどうしよう」③承知したという意味の応答のこと。因例「このナイフもよつと借りていいですか」「ああ、いいよ」▽アア

因例②は、親しい人や、目下の人に対して使う。発音の「し」かたによつては、気のない返事にもなる。



〔アーチ〕

## あい〔漢字項目〕

## 【哀】 全部7画 哀 哀 哀 哀 哀

アイ あわれあわれ ①悲しい。■哀感(あいかん)。■哀愁(あし)。■哀悼(あいとう)。■哀語(あいうご)。■哀れ。■哀願(あいがん)。■哀訴(あいうそ)。

## 【愛】 全部9画 愛 愛 愛 愛 愛

アイ 愛小 ①とても好きである。■愛玩(あいがん)。■愛護(あいご)。②よくしる。■愛愛(あいあい)。■愛愛(あいあい)。■愛愛(あいあい)。

■愛愛。愛兒。愛車。③好んで…する。■愛唱(あいしょう)。■愛愛(あいあい)。

アーケード(名) まるい形の屋根でおおれた歩道。商店街によく見られる。◇arcade

アース(名) せんたな機などの電気器具につけ、電気回路を地面とむすびつける導線。感電の防止や、器具の保護などのためにける。◇earth

アーチ(名) ①柱を立てずに重さをささる建築の構造。石やれんがをすこすなみに積みかさね、口のような形にする。②葉のつた木のエだなどくみ合せてつづいた門。運動会などで使。③アーチをえく「アーチをかける」などの形で「ホームラン」のこと。▽因例「アーチエリ」(名) 西洋式の弓。また、それを使うスポーツ競技。オリンピック種目の一つ。洋弓。◇archery

アーメン(感) キリスト教で、賛美歌を歌いおとるときや祈(いのり)のときを言いおとるときに、心をこめて神に言うこと。とほ。そうであらうように。という意味を表わす。◇ヘブライ語から。

アーモンド(名) (植物) モモに似た葉や実をつける落葉高木。種は食べたりするにしたりする。◇almond

アリアジン(アリア人)(名) 民族の名。もと中央アジアに住んだ。紀元前二千年ごろ、南下してインド文化の基礎をきいた。また、別の部族は、ペルシア帝国(ペル)をつけた。現在、インド人・イラン人・ヨーロッパ人を形成する民族。

アール(名) 接尾。土地などの面積を表わす単位。一アールは一〇〇平方メートル。記号a ◇are

用。④たいせつなもの。■割愛(かあい)。▽独立項目あ(愛) あいする

1 あい(合い)(名) あいだ。続いてたものととれられて、たもないあいだ。また、二つのもののあいだ。■同合いの手。合

い着。合い間。谷合い。間合い。幕合い。▽アイ

2 あい(藍)(名) ①(植物) 葉からこい青色の染料(はうし)をえる一年草。②①の草からとった染料。③こい青色。■同あい色。▽アイ

藍より青(あいにし) ひしゅうのほまれ

あい(愛)(名) ①好きでたまらないという気持ちや、大切に思う気持ち。■同愛をたまらない。②恋心。③どんなにせいを払っても大切にしたいと思う気持ち。■同真理(まこと)。▽アイ

あい(相) 接頭。①たがいになかをあうことを表わす。■同相打ち。相相。相寄。②あたまつたきやおもしろく言うときにつくこと。因例「当年(ごんねん)として七十歳(とし)に相なりませう」まことに相すみませう

あい(合い)(造語) ①動詞のあとにつけて、名詞をつくる。たがいになかをあうことを表わす。■同言い合い。切り合い。なれ合い。見合。②名詞のあとにつけて、漠然とした全体の感じを表わす。■同意味合い。色合い。あいれない。相いれない。相容れない。③(形) 考えたや立場がちがために、たがいに相手をい入れることができない。■同相いれない。仲

あい(合い)(名) 二つ以上の書類や帳簿(ちやうぼ)を比べて、内容が合っていることを証明する類におす印。■割印。

アイエルオー(ILO)(名) 国際労働機関。労働者の生活の向上を主目的とする国際連合の機関。◇International Labor Organization略

あい(えんきえん)(合縁奇縁)(名) 人と人とのき合いが、うまくいったりいかなかったりするの。すべてふしぎなめぐりあわせというのだ。ということ。②縁は異なもの。③(相)お(生)いのまつ(松) 一つの根から雄松(お)と雌松(め)が生えたもの。長い年月をもに過(す)すものと意味で使うことが多い。

アイオーシー(IOC)(名) 国際オリンピック委員



アイセキ

あいせつ(哀切)(名・形動) あわれで、深く心をゆり動かすような感じ。同例 哀切な音色。哀切きまりな。

あいせ(哀訴)(名) ① 自分に同情を乞うように、涙(なみ)ながら相手にうつたえること。② 哀願。同例 アイソ。

あいそ(愛想)(名) ① 人にいい感じをあてるための態度や動作を表面に出すこと。同例 愛想がいい。② 愛敬。③ その人に好意をもとうとする気持ち。同例 愛想がつかざる。愛想をつかう。▽「あいそ」ともいう。同例 アイソ。

同例 客が帰る際に、主人が「どうも愛想がなすすみません」と言うのを、「愛想」は「ごそうな」人に対するもてなしを表わす。飲食店では「あいそ」といって勘定(かてい)の意味に使う。

あいぞう(愛蔵)(名・数) 大事にして、注意ぶかくしまっておく。同例 愛蔵の品。

あいそづかし(愛想尽かし)(名) 相手をするのがいやになったことを表わす態度やことば。同例 愛想尽かしを言う。愛想尽かをする。

アイソトープ(名) ① 同位体(どういたい)のこと。◇isotope

あいだ(間)(名) ① 二つのものにはさまれている部分。同例 間をあける。間をよめる。② ある時から他の時までまでのつぎの時間。また、そのなかのある時。同例 間をおく。

同例 食べている間は静かだ。夏休みの間に旅行する。③ 人と人との関係。同例 間にいる。同例 間に入る。そんなことを言々とほく友人。④ グループをつくっている人びとの範囲(はんい)。同例 友人の間では有名な話だ。

あいたい(する) 相対する(こうたいする)(動サ変) ① 二つのものが向かいあう。同例 県庁と市役所とが道をたてて相対している。② 二つのものが対立する。同例 相対する関係。

あいだがら(間柄)(名) ① 人と人とのあいだの関係。同例 「おふたりの間柄は」「兄と妹です」② 続き柄(つづきがら) ③ ふたりの間柄は親密(しんみつ)さがどれくらいか。同例 続き柄(つづきがら) ④ 続き柄(つづきがら) ⑤ 続き柄(つづきがら) ⑥ 続き柄(つづきがら) ⑦ 続き柄(つづきがら) ⑧ 続き柄(つづきがら) ⑨ 続き柄(つづきがら) ⑩ 続き柄(つづきがら) ⑪ 続き柄(つづきがら) ⑫ 続き柄(つづきがら) ⑬ 続き柄(つづきがら) ⑭ 続き柄(つづきがら) ⑮ 続き柄(つづきがら) ⑯ 続き柄(つづきがら) ⑰ 続き柄(つづきがら) ⑱ 続き柄(つづきがら) ⑲ 続き柄(つづきがら) ⑳ 続き柄(つづきがら) ㉑ 続き柄(つづきがら) ㉒ 続き柄(つづきがら) ㉓ 続き柄(つづきがら) ㉔ 続き柄(つづきがら) ㉕ 続き柄(つづきがら) ㉖ 続き柄(つづきがら) ㉗ 続き柄(つづきがら) ㉘ 続き柄(つづきがら) ㉙ 続き柄(つづきがら) ㉚ 続き柄(つづきがら) ㉛ 続き柄(つづきがら) ㉜ 続き柄(つづきがら) ㉝ 続き柄(つづきがら) ㉞ 続き柄(つづきがら) ㉟ 続き柄(つづきがら) ㊱ 続き柄(つづきがら) ㊲ 続き柄(つづきがら) ㊳ 続き柄(つづきがら) ㊴ 続き柄(つづきがら) ㊵ 続き柄(つづきがら) ㊶ 続き柄(つづきがら) ㊷ 続き柄(つづきがら) ㊸ 続き柄(つづきがら) ㊹ 続き柄(つづきがら) ㊺ 続き柄(つづきがら) ㊻ 続き柄(つづきがら) ㊼ 続き柄(つづきがら) ㊽ 続き柄(つづきがら) ㊾ 続き柄(つづきがら) ㊿ 続き柄(つづきがら)

あいがら(間柄)(名) ① 人と人とのあいだの関係。同例 「おふたりの間柄は」「兄と妹です」② 続き柄(つづきがら) ③ ふたりの間柄は親密(しんみつ)さがどれくらいか。同例 続き柄(つづきがら) ④ 続き柄(つづきがら) ⑤ 続き柄(つづきがら) ⑥ 続き柄(つづきがら) ⑦ 続き柄(つづきがら) ⑧ 続き柄(つづきがら) ⑨ 続き柄(つづきがら) ⑩ 続き柄(つづきがら) ⑪ 続き柄(つづきがら) ⑫ 続き柄(つづきがら) ⑬ 続き柄(つづきがら) ⑭ 続き柄(つづきがら) ⑮ 続き柄(つづきがら) ⑯ 続き柄(つづきがら) ⑰ 続き柄(つづきがら) ⑱ 続き柄(つづきがら) ⑲ 続き柄(つづきがら) ⑳ 続き柄(つづきがら) ㉑ 続き柄(つづきがら) ㉒ 続き柄(つづきがら) ㉓ 続き柄(つづきがら) ㉔ 続き柄(つづきがら) ㉕ 続き柄(つづきがら) ㉖ 続き柄(つづきがら) ㉗ 続き柄(つづきがら) ㉘ 続き柄(つづきがら) ㉙ 続き柄(つづきがら) ㉚ 続き柄(つづきがら) ㉛ 続き柄(つづきがら) ㉜ 続き柄(つづきがら) ㉝ 続き柄(つづきがら) ㉞ 続き柄(つづきがら) ㉟ 続き柄(つづきがら) ㊱ 続き柄(つづきがら) ㊲ 続き柄(つづきがら) ㊳ 続き柄(つづきがら) ㊴ 続き柄(つづきがら) ㊵ 続き柄(つづきがら) ㊶ 続き柄(つづきがら) ㊷ 続き柄(つづきがら) ㊸ 続き柄(つづきがら) ㊹ 続き柄(つづきがら) ㊺ 続き柄(つづきがら) ㊻ 続き柄(つづきがら) ㊼ 続き柄(つづきがら) ㊽ 続き柄(つづきがら) ㊾ 続き柄(つづきがら) ㊿ 続き柄(つづきがら)

あいがら(間柄)(名) ① 人と人とのあいだの関係。同例 「おふたりの間柄は」「兄と妹です」② 続き柄(つづきがら) ③ ふたりの間柄は親密(しんみつ)さがどれくらいか。同例 続き柄(つづきがら) ④ 続き柄(つづきがら) ⑤ 続き柄(つづきがら) ⑥ 続き柄(つづきがら) ⑦ 続き柄(つづきがら) ⑧ 続き柄(つづきがら) ⑨ 続き柄(つづきがら) ⑩ 続き柄(つづきがら) ⑪ 続き柄(つづきがら) ⑫ 続き柄(つづきがら) ⑬ 続き柄(つづきがら) ⑭ 続き柄(つづきがら) ⑮ 続き柄(つづきがら) ⑯ 続き柄(つづきがら) ⑰ 続き柄(つづきがら) ⑱ 続き柄(つづきがら) ⑲ 続き柄(つづきがら) ⑳ 続き柄(つづきがら) ㉑ 続き柄(つづきがら) ㉒ 続き柄(つづきがら) ㉓ 続き柄(つづきがら) ㉔ 続き柄(つづきがら) ㉕ 続き柄(つづきがら) ㉖ 続き柄(つづきがら) ㉗ 続き柄(つづきがら) ㉘ 続き柄(つづきがら) ㉙ 続き柄(つづきがら) ㉚ 続き柄(つづきがら) ㉛ 続き柄(つづきがら) ㉜ 続き柄(つづきがら) ㉝ 続き柄(つづきがら) ㉞ 続き柄(つづきがら) ㉟ 続き柄(つづきがら) ㊱ 続き柄(つづきがら) ㊲ 続き柄(つづきがら) ㊳ 続き柄(つづきがら) ㊴ 続き柄(つづきがら) ㊵ 続き柄(つづきがら) ㊶ 続き柄(つづきがら) ㊷ 続き柄(つづきがら) ㊸ 続き柄(つづきがら) ㊹ 続き柄(つづきがら) ㊺ 続き柄(つづきがら) ㊻ 続き柄(つづきがら) ㊼ 続き柄(つづきがら) ㊽ 続き柄(つづきがら) ㊾ 続き柄(つづきがら) ㊿ 続き柄(つづきがら)

あいがら(間柄)(名) ① 人と人とのあいだの関係。同例 「おふたりの間柄は」「兄と妹です」② 続き柄(つづきがら) ③ ふたりの間柄は親密(しんみつ)さがどれくらいか。同例 続き柄(つづきがら) ④ 続き柄(つづきがら) ⑤ 続き柄(つづきがら) ⑥ 続き柄(つづきがら) ⑦ 続き柄(つづきがら) ⑧ 続き柄(つづきがら) ⑨ 続き柄(つづきがら) ⑩ 続き柄(つづきがら) ⑪ 続き柄(つづきがら) ⑫ 続き柄(つづきがら) ⑬ 続き柄(つづきがら) ⑭ 続き柄(つづきがら) ⑮ 続き柄(つづきがら) ⑯ 続き柄(つづきがら) ⑰ 続き柄(つづきがら) ⑱ 続き柄(つづきがら) ⑲ 続き柄(つづきがら) ⑳ 続き柄(つづきがら) ㉑ 続き柄(つづきがら) ㉒ 続き柄(つづきがら) ㉓ 続き柄(つづきがら) ㉔ 続き柄(つづきがら) ㉕ 続き柄(つづきがら) ㉖ 続き柄(つづきがら) ㉗ 続き柄(つづきがら) ㉘ 続き柄(つづきがら) ㉙ 続き柄(つづきがら) ㉚ 続き柄(つづきがら) ㉛ 続き柄(つづきがら) ㉜ 続き柄(つづきがら) ㉝ 続き柄(つづきがら) ㉞ 続き柄(つづきがら) ㉟ 続き柄(つづきがら) ㊱ 続き柄(つづきがら) ㊲ 続き柄(つづきがら) ㊳ 続き柄(つづきがら) ㊴ 続き柄(つづきがら) ㊵ 続き柄(つづきがら) ㊶ 続き柄(つづきがら) ㊷ 続き柄(つづきがら) ㊸ 続き柄(つづきがら) ㊹ 続き柄(つづきがら) ㊺ 続き柄(つづきがら) ㊻ 続き柄(つづきがら) ㊼ 続き柄(つづきがら) ㊽ 続き柄(つづきがら) ㊾ 続き柄(つづきがら) ㊿ 続き柄(つづきがら)

あいがら(間柄)(名) ① 人と人とのあいだの関係。同例 「おふたりの間柄は」「兄と妹です」② 続き柄(つづきがら) ③ ふたりの間柄は親密(しんみつ)さがどれくらいか。同例 続き柄(つづきがら) ④ 続き柄(つづきがら) ⑤ 続き柄(つづきがら) ⑥ 続き柄(つづきがら) ⑦ 続き柄(つづきがら) ⑧ 続き柄(つづきがら) ⑨ 続き柄(つづきがら) ⑩ 続き柄(つづきがら) ⑪ 続き柄(つづきがら) ⑫ 続き柄(つづきがら) ⑬ 続き柄(つづきがら) ⑭ 続き柄(つづきがら) ⑮ 続き柄(つづきがら) ⑯ 続き柄(つづきがら) ⑰ 続き柄(つづきがら) ⑱ 続き柄(つづきがら) ⑲ 続き柄(つづきがら) ⑳ 続き柄(つづきがら) ㉑ 続き柄(つづきがら) ㉒ 続き柄(つづきがら) ㉓ 続き柄(つづきがら) ㉔ 続き柄(つづきがら) ㉕ 続き柄(つづきがら) ㉖ 続き柄(つづきがら) ㉗ 続き柄(つづきがら) ㉘ 続き柄(つづきがら) ㉙ 続き柄(つづきがら) ㉚ 続き柄(つづきがら) ㉛ 続き柄(つづきがら) ㉜ 続き柄(つづきがら) ㉝ 続き柄(つづきがら) ㉞ 続き柄(つづきがら) ㉟ 続き柄(つづきがら) ㊱ 続き柄(つづきがら) ㊲ 続き柄(つづきがら) ㊳ 続き柄(つづきがら) ㊴ 続き柄(つづきがら) ㊵ 続き柄(つづきがら) ㊶ 続き柄(つづきがら) ㊷ 続き柄(つづきがら) ㊸ 続き柄(つづきがら) ㊹ 続き柄(つづきがら) ㊺ 続き柄(つづきがら) ㊻ 続き柄(つづきがら) ㊼ 続き柄(つづきがら) ㊽ 続き柄(つづきがら) ㊾ 続き柄(つづきがら) ㊿ 続き柄(つづきがら)

あいがら(間柄)(名) ① 人と人とのあいだの関係。同例 「おふたりの間柄は」「兄と妹です」② 続き柄(つづきがら) ③ ふたりの間柄は親密(しんみつ)さがどれくらいか。同例 続き柄(つづきがら) ④ 続き柄(つづきがら) ⑤ 続き柄(つづきがら) ⑥ 続き柄(つづきがら) ⑦ 続き柄(つづきがら) ⑧ 続き柄(つづきがら) ⑨ 続き柄(つづきがら) ⑩ 続き柄(つづきがら) ⑪ 続き柄(つづきがら) ⑫ 続き柄(つづきがら) ⑬ 続き柄(つづきがら) ⑭ 続き柄(つづきがら) ⑮ 続き柄(つづきがら) ⑯ 続き柄(つづきがら) ⑰ 続き柄(つづきがら) ⑱ 続き柄(つづきがら) ⑲ 続き柄(つづきがら) ⑳ 続き柄(つづきがら) ㉑ 続き柄(つづきがら) ㉒ 続き柄(つづきがら) ㉓ 続き柄(つづきがら) ㉔ 続き柄(つづきがら) ㉕ 続き柄(つづきがら) ㉖ 続き柄(つづきがら) ㉗ 続き柄(つづきがら) ㉘ 続き柄(つづきがら) ㉙ 続き柄(つづきがら) ㉚ 続き柄(つづきがら) ㉛ 続き柄(つづきがら) ㉜ 続き柄(つづきがら) ㉝ 続き柄(つづきがら) ㉞ 続き柄(つづきがら) ㉟ 続き柄(つづきがら) ㊱ 続き柄(つづきがら) ㊲ 続き柄(つづきがら) ㊳ 続き柄(つづきがら) ㊴ 続き柄(つづきがら) ㊵ 続き柄(つづきがら) ㊶ 続き柄(つづきがら) ㊷ 続き柄(つづきがら) ㊸ 続き柄(つづきがら) ㊹ 続き柄(つづきがら) ㊺ 続き柄(つづきがら) ㊻ 続き柄(つづきがら) ㊼ 続き柄(つづきがら) ㊽ 続き柄(つづきがら) ㊾ 続き柄(つづきがら) ㊿ 続き柄(つづきがら)

あいがら(間柄)(名) ① 人と人とのあいだの関係。同例 「おふたりの間柄は」「兄と妹です」② 続き柄(つづきがら) ③ ふたりの間柄は親密(しんみつ)さがどれくらいか。同例 続き柄(つづきがら) ④ 続き柄(つづきがら) ⑤ 続き柄(つづきがら) ⑥ 続き柄(つづきがら) ⑦ 続き柄(つづきがら) ⑧ 続き柄(つづきがら) ⑨ 続き柄(つづきがら) ⑩ 続き柄(つづきがら) ⑪ 続き柄(つづきがら) ⑫ 続き柄(つづきがら) ⑬ 続き柄(つづきがら) ⑭ 続き柄(つづきがら) ⑮ 続き柄(つづきがら) ⑯ 続き柄(つづきがら) ⑰ 続き柄(つづきがら) ⑱ 続き柄(つづきがら) ⑲ 続き柄(つづきがら) ⑳ 続き柄(つづきがら) ㉑ 続き柄(つづきがら) ㉒ 続き柄(つづきがら) ㉓ 続き柄(つづきがら) ㉔ 続き柄(つづきがら) ㉕ 続き柄(つづきがら) ㉖ 続き柄(つづきがら) ㉗ 続き柄(つづきがら) ㉘ 続き柄(つづきがら) ㉙ 続き柄(つづきがら) ㉚ 続き柄(つづきがら) ㉛ 続き柄(つづきがら) ㉜ 続き柄(つづきがら) ㉝ 続き柄(つづきがら) ㉞ 続き柄(つづきがら) ㉟ 続き柄(つづきがら) ㊱ 続き柄(つづきがら) ㊲ 続き柄(つづきがら) ㊳ 続き柄(つづきがら) ㊴ 続き柄(つづきがら) ㊵ 続き柄(つづきがら) ㊶ 続き柄(つづきがら) ㊷ 続き柄(つづきがら) ㊸ 続き柄(つづきがら) ㊹ 続き柄(つづきがら) ㊺ 続き柄(つづきがら) ㊻ 続き柄(つづきがら) ㊼ 続き柄(つづきがら) ㊽ 続き柄(つづきがら) ㊾ 続き柄(つづきがら) ㊿ 続き柄(つづきがら)

あいがら(間柄)(名) ① 人と人とのあいだの関係。同例 「おふたりの間柄は」「兄と妹です」② 続き柄(つづきがら) ③ ふたりの間柄は親密(しんみつ)さがどれくらいか。同例 続き柄(つづきがら) ④ 続き柄(つづきがら) ⑤ 続き柄(つづきがら) ⑥ 続き柄(つづきがら) ⑦ 続き柄(つづきがら) ⑧ 続き柄(つづきがら) ⑨ 続き柄(つづきがら) ⑩ 続き柄(つづきがら) ⑪ 続き柄(つづきがら) ⑫ 続き柄(つづきがら) ⑬ 続き柄(つづきがら) ⑭ 続き柄(つづきがら) ⑮ 続き柄(つづきがら) ⑯ 続き柄(つづきがら) ⑰ 続き柄(つづきがら) ⑱ 続き柄(つづきがら) ⑲ 続き柄(つづきがら) ⑳ 続き柄(つづきがら) ㉑ 続き柄(つづきがら) ㉒ 続き柄(つづきがら) ㉓ 続き柄(つづきがら) ㉔ 続き柄(つづきがら) ㉕ 続き柄(つづきがら) ㉖ 続き柄(つづきがら) ㉗ 続き柄(つづきがら) ㉘ 続き柄(つづきがら) ㉙ 続き柄(つづきがら) ㉚ 続き柄(つづきがら) ㉛ 続き柄(つづきがら) ㉜ 続き柄(つづきがら) ㉝ 続き柄(つづきがら) ㉞ 続き柄(つづきがら) ㉟ 続き柄(つづきがら) ㊱ 続き柄(つづきがら) ㊲ 続き柄(つづきがら) ㊳ 続き柄(つづきがら) ㊴ 続き柄(つづきがら) ㊵ 続き柄(つづきがら) ㊶ 続き柄(つづきがら) ㊷ 続き柄(つづきがら) ㊸ 続き柄(つづきがら) ㊹ 続き柄(つづきがら) ㊺ 続き柄(つづきがら) ㊻ 続き柄(つづきがら) ㊼ 続き柄(つづきがら) ㊽ 続き柄(つづきがら) ㊾ 続き柄(つづきがら) ㊿ 続き柄(つづきがら)

あいがら(間柄)(名) ① 人と人とのあいだの関係。同例 「おふたりの間柄は」「兄と妹です」② 続き柄(つづきがら) ③ ふたりの間柄は親密(しんみつ)さがどれくらいか。同例 続き柄(つづきがら) ④ 続き柄(つづきがら) ⑤ 続き柄(つづきがら) ⑥ 続き柄(つづきがら) ⑦ 続き柄(つづきがら) ⑧ 続き柄(つづきがら) ⑨ 続き柄(つづきがら) ⑩ 続き柄(つづきがら) ⑪ 続き柄(つづきがら) ⑫ 続き柄(つづきがら) ⑬ 続き柄(つづきがら) ⑭ 続き柄(つづきがら) ⑮ 続き柄(つづきがら) ⑯ 続き柄(つづきがら) ⑰ 続き柄(つづきがら) ⑱ 続き柄(つづきがら) ⑲ 続き柄(つづきがら) ⑳ 続き柄(つづきがら) ㉑ 続き柄(つづきがら) ㉒ 続き柄(つづきがら) ㉓ 続き柄(つづきがら) ㉔ 続き柄(つづきがら) ㉕ 続き柄(つづきがら) ㉖ 続き柄(つづきがら) ㉗ 続き柄(つづきがら) ㉘ 続き柄(つづきがら) ㉙ 続き柄(つづきがら) ㉚ 続き柄(つづきがら) ㉛ 続き柄(つづきがら) ㉜ 続き柄(つづきがら) ㉝ 続き柄(つづきがら) ㉞ 続き柄(つづきがら) ㉟ 続き柄(つづきがら) ㊱ 続き柄(つづきがら) ㊲ 続き柄(つづきがら) ㊳ 続き柄(つづきがら) ㊴ 続き柄(つづきがら) ㊵ 続き柄(つづきがら) ㊶ 続き柄(つづきがら) ㊷ 続き柄(つづきがら) ㊸ 続き柄(つづきがら) ㊹ 続き柄(つづきがら) ㊺ 続き柄(つづきがら) ㊻ 続き柄(つづきがら) ㊼ 続き柄(つづきがら) ㊽ 続き柄(つづきがら) ㊾ 続き柄(つづきがら) ㊿ 続き柄(つづきがら)

あ

なれたく感じること。古くは「あいじゃ」ともいった。

同例 使いたれた品に愛着(あいじゃく)をもつ。

あいじびき(哀調)(名) 音楽や詩にたうよう、ものがないうちびき。同例 哀調をおびた曲をかなる。

あいいついで(相次いで)(副) 一つが終わった思ったらまた。同例 父と母が相次いで亡くなった。

あいつぐ(相次ぐ)(動五) 次から次へと続いておこなう。同例 災難が相次ぐ。

あいづち(相槌)(をう)(打)つ 相手の話や意見を聞きながらそれに調子を合わせる。

あいて(相手)(名) ① 自分と対峙(たいし)して、なにかをする人。同例 相手をする。同例 話し相手。② 相棒(さへだま)。③ 勝負や競争で敵がわる人。同例 こんどの相手はなかなか手強い。④ 商店などの対象になる人。同例 子に相手に菓子(かし)を売る店。

アイデア(名) ちょっと頭をはたらき出してでないような思いつきやう。同例 「なにかいいアイデアはありますか」同例 アイデアマン。② 着想。思いつき。◇idea

あいどう(哀悼)(名) 人の死に対する深い悲しみ。同例 「心から哀悼の意を表(あらわ)します」③ 哀惜(あいしつ)。同例 泣き声(なみきこゑ)の作品を愛読する。同例 愛読書。

アイドル(名) みんながあれこれ、近づきたいと思っている人。同例 アイドル歌手。② あこがれの的。◇idol

あいなば(する) 相半ばする(さうはんばする)(動サ変) 相反する性質が半分ずつある。同例 功罪(こうざい)相半ばする。

あいにく(生憎)(形動・副) ものごとくあいが悪いよう。同例 あいにくな天気。同例 あいにく(こ)うが悪い。同例 ③ おおあし。

同例 ながにかをよとして、それをまたげる事情がおこったときを使う。

アイヌ名(名) 北海道から樺太(へッパ)にかけて住む種族。同例 「人」という意味のアイヌ語。

あいのて(合いの手)(「間の手」)(名) ① 歌などのきれ目に入れる。かけ声や手拍子(てうち)など。② 人の話のときれ目に入れる。話を進めやすくすること。▽同例 合いの手を入れる。

あいのり(相乗り)(名) ① タクシーなどに連れで

ない人といっしょに客として乗ること。② もともと仲間でないものがいっしょに仕事をすること。

同例 テレビで「相乗り番組」といえば、他のスポンサーに「便乗(べんじよう)してスポンサーになる」という。

あいびき(合いびき)「合い」挽き(名) 牛肉(ぎゅうにく)と肉ま(にくま)をひく。同例 アイビキ。

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あいびき(合い引き)(名) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕

## あ

のこをを進めろと、一番むずかしいところ。 同国 階路をきりぬく。

アイロン(名) 衣類のしわをとったり、折り目をつけたりする道具。熱して使う。◇ Iron

アインシュタイン 〔名〕 数学者。アメリカの物理学者。ドット生まれ。相対性理論を考えた人として有名。◇ Albert Einstein

あ・う(会・う・通う)(動五) ①〔会〕人と顔を合わせる。 同国 人と会う。 人に会う。 ②〔通う〕ものごとに出くわす。また、経験する。 同国 災難に遭う。ひと目に遭う。 ③ぶつかる。 同国 アラ

同国 ②はよくないことを経験するときに使うことが多い。 会うは別(べ)れの始(はじ)め 人と人が出会(であ)うというこ

はいつかなくする別の始(はじ)まりでしかない、というこ

人と人の結びつきはかないことをたとえたことば。

あ・う(合・う)(動五) ①二以上のものが、いっしょになる。 同国 ②は、ほくの足に合わないこと。 ③正しいものと同一になる。 同国 答えが合う。時計が合う。 ④よく

⑤(合わない)の形で、全体で苦勞したいが合わない。 同国

「せっかくやめたのにそんなことを言われたは合わない」

マツアウ(名) 〔名〕 助詞の連用形につく。 ①たがいに

なにかを。 同国 助け合う。話し合う。 ②いっしょにな

る。 同国 落ち合う。つけ合う。

アウト(名) ①テニスや卓球(たけ)などで、ボールがコ

山頂をあおぐ



〔あおく〕



書をあおぐ

トの外に出ると。 ②イン。 ③野球で、バッターやランナーが生きていること。 ④外。 ⑤ある試みがだめになること。

⑥造詣(ぞうぎ)の。 ⑦外。 ⑧アウター(戸外)。 アウトコナー。 ⑨イン。 ⑩Out

アウトサイダー(名) 外がわの人。 ①Outsider

同国 アウトサイダーは、社会に生きていく上での一つのすが

たあり、動きの主流には入らず、傍観(ぼうくわん)者で、中心

勢力にはならないかわりに、自由な立場を利用して、か

つ気まにふるまう人、というものがその典型である。

アウトフット(名) ①コンヒーターなどで、「出力」

のこと。 ②インプット。 ③Output

アウトライン(名) 話や考えの、だいたいのなか。 ④概

要(よう)略(りやく)。 ⑤Outline

あうん(阿・呼)の(ききう)(呼吸) ①たいていする仕

事や動作などの調子がびつたり合っていること。

同国 ①は、はく息、呼は吸(す)息を意味し、両方のつ

ながりがよいことをいう。「あうん」は、もと古代インド語。

あえぎあえぎ(喘ぎ喘ぎ) ①副。 あはあ苦しう

に。 同国 あえぎあえぎ坂道をのぼる。

あえ・ぐ(喘ぐ)(動五) ①はげしい運動や病気のた

めにはあえを苦しうな息をする。 ②よくないところの

れることができず苦しむ。 同国 重荷にあえぐ。

あえて「敢えて」 ①困難やむりを覚悟(かく)のう

えで、同国 あえて危険をおかす。 ②いって。 わざわざ。

③あて。 打ち消(うちく)のこぼともなう。 全体でかならずしも

ない。 ④わりして。 ない。 同国 あえて強制(きやうせい)しないが、で

きるならお願いしたい。

あえない「敢えない」(形) 思ったよりあつけない。 は

かない。 同国 あえない。 ①最期(さいご)の。 をとける。

あえもの(「あえ物」) ①和(わ)えつくと

料理。

あえる(和える) ①動下 ②野菜や魚貝(ぎょがい)海藻(かいそう)

などに、みそやこまだれなどを加えて軽く混ぜ合わせる。

あえん(亜鉛) ①名 ②化学 青みをひいた銀白色の金

属。 タンバク(真鍮)は、洋銀などの原料に使われる。 元

素の(一)。 記号 Zn

あお(青) ①名 ②すみきた秋(あき)の空(そら)のような色。 赤・黄

とともに三原色(さんげんしき)の一つ。 同国 青色。 ③緑色・空色・あ

い色・水色(みづいろ)などをとめていうことば。 同国 青葉(せい

葉)。 ④交通信号(こうたうしんごう)で「安全」を進めという意味を表(あらわ)す色。

⑤「接頭(せつごう)」「若い」「未熟(みじく)などの意味を表(あらわ)す。 同国

青二才(せいじさい)。 青坊主(せいぼうし)。

青は藍(あいに)より出(い)でて、ひとしづらん(ひとしづらん)のほまれ

あおあ(「青青」) ①副 ②あざやかな青や緑が、一面に

広がっている。 同国 草木(くさく)が青々とけいている。

あおい(「葵」) ①名 ②植物 フユアオイゼニアオイなどの植

物をまとめたことば。 ③葉は多くハート形。 ④アオイ

同国 徳川家(とくがわ)の使用した「葵(あおい)紋(もん)」はフタバアオイの図

案(あん)化したもの。

あおい(青い) ①「若い」(形) ②晴れた空や深い海

の色(いろ)を。 ③顔色(がんしき)に血(ち)のけがない。 同国 金を落(お)して

て、青い顔(がん)を。 ④交番(こうばん)にけこんだ。 ⑤果実(くわいじ)がまだすこ

しも熟(う)れていない。 ⑥緑色(きょくしき)を。 同国 アオイ

同国 「青い果実(くわいじ)」「青い麦(あわ)」などいふは、まだ、果実(くわいじ)が

熟(う)れないことを、人間(にんげん)として未熟(みじく)なことをさす。

「お尻(しつ)が青い」も、子どもとして、まだ一人まえでな

いという意味(いみ)を表(あらわ)す言(こと)ば。

青(あお)なる おどろきやそれで、顔(かお)から血(ち)のけがひく。 同国

財布(さいふ)がないのに、気づいて青(あお)くなった。 同国 青さめる。

あおいき(いき) ①青息吐息(せいそそ) ②名 ③うにもやりくり

がつかなく、困(こ)りして、うとうと。

あおうな(「青海原」) ①名 ②一面に広がっている海。

あおな(「青か」) ①青(あお) ②名 ③餅(もち)やパ

ンなどの食べ物(け)に生(な)える。 青み(あおみ)がかった緑色(きょくしき)。

同国 ベニシシは青(あお)かびの一種(いっしゆ)からつくられる。

あおき(「青桐」) ①名 ②植物 街路樹(げいろうじゆ)などに

する落葉高木(らくえつこうぼく)。 緑色(きょくしき)の幹(み)がまっすぐ。 葉(は)はキリ

に似(に)ていて大(お)き。 初夏(じゆ)うす黄色(きいろ)の小(こ)き花(は)が咲(さ)く。

あおく(仰ぐ) ①動五 ②顔を上にむいて上(う)の方に目(め)を

みる。 同国 天(てん)を仰(う)ぐ。 山頂(さんてい)を仰(う)ぐ。 ③人を尊敬(そけい)する

気持(きもち)で、高い位置(たかいち)にす。 同国 顔(かお)と仰(う)ぐ。 ④会長(かい

長(かい)に仰(う)ぐ。 ⑤いたく。 ⑥大事なことをしてもらったために、お

願(ねが)いする。 同国 教(きょう)えを仰(う)ぐ。 援助(えんご)を仰(う)ぐ。 ⑦上(う)

をむいて。 ⑧気(き)に飲(の)む。 同国 書を仰(う)ぐ。 同国 マツアウク

あおく(「属」) ①動五 ②属子(ぞくし)やうちわを使(つか)って風

をおす。 同国 アオク

●●は重要語 ⑤は反対語および対語 ⑥は意味の似たことば ▽は項目全体にかかる情報 ㊦はアクセント



あおくさい(青臭い)〔形〕①青菜を切ったときのにおいがする。●未熟だ。〔図例〕「青臭いことを言うな」

あお(青)くなる。①「あお」(青い)の子項目

あおさめる(青さめる)〔動下二〕おどろきやおそれ、病氣などで、顔の血けがなくなり、青白くなる。

あおじやしん(青写真)〔名〕①青地に白で、設計図や文字をつたした複写真。●試験的な計画案。〔図例〕この計画は、まだ青写真の段階だ。

あおじろい(青白い)〔形〕①少し青さをよくんでいて、白い。●顔色が血けを失って青い。〔図例〕青白い顔。

あおじんじ(青信号)〔名〕①交通信号の一つ。安全「や」進めという意味を表す。青色や緑色の信号。●ものごとをそのまま進めようという意味を表す〔図例〕青信号が出る。▽赤信号。

あおすじ(青筋)をた立つて。顔やこめかみの静脈(じけ)がうみ出するに興奮する。〔図例〕青筋を立てておそる。青い立つ。

あおぞら(青空)〔名〕①よく晴れた空。●晴天。●(青空)の形で、屋外の。野外の。〔図例〕青空教室。青空市場。青空駐車(特)。

あおだいしょう(青大将)〔名〕〔動物〕ヘビの一種。背中が暗緑色で、大きいものは長さ二メートルになる。あおてんじょう(青天井)〔名〕青空。

あおな(青菜)〔名〕ホウレンソウ・コロッサのような、こい緑色の野菜。

青菜に塩ひ。青菜に塩をかけるとしておて、まろやかに、今まで元気だった人が急にひとへ元気なしたようす。

あおにさい(青二才)〔名〕年も若く、経験もほしい男。〔図例〕「青二才のくせに出すことを言うな」

園圃 生意気なやつとくえい気持を表わすことば。

あおのり(青のり)〔青海苔〕〔名〕〔植物〕食用とする海藻類の一種。浅い海の岩などに生える。

あおば(青菜)〔名〕初夏のころ、目にしみるように感じられる若菜。〔図例〕目には青菜山ほどにすく切腹(切)。

園圃「青菜の季節」や「新緑の候」は、四月から五月にかけて書く手紙のあいさとして適したこぼしである。

あおびょうたん(青びょうたん)〔青瓢箪〕〔名〕まだ青くてうれていないヒョウタン。●丸なり。●かっけて顔色の青い、ぼやけた元気のない人をはから。●かっけて顔色の青い。

あおみ(青み・青味)〔名〕①「青み」どちらかというとき、青く感られる色合い。〔図例〕青みがます。青みをおさる。〔図例〕青みがかる。②「青味」料理で、にもや焼き物にそえる。緑色の野菜。

あおみどり(青みどり)〔名〕〔植物〕川や池、水田などに生える藻。①。緑色で、糸のようにほろい。

あおむく(青むく)〔動五〕顔を上にむける。●うつむく。●うつむく。●うつむく。●うつむく。

あおむけ(仰向け)〔名〕胸や腹のあつ方を上にむけること。あおの。〔図例〕あおむけにねる。●うつぶせ。●うつぶせ。

あおむし(青虫)〔名〕〔動物〕モンシロチョウなどの幼虫。緑色をしていて、キベツなどを食べる。

あおももの(青物)〔名〕①緑色の野菜。●野菜をまとめているもの。〔図例〕青物市場。②皮の青い魚。イワシ・サバなど。

あおやぎ(青柳)〔名〕①あおおとしたヤナギ。②少しあおで使うバカガイのむき身。

あおり(煽り)〔名〕①風が強くて物を動かすこと。〔図例〕強風のおおりで立ち木がたおれた。②大きな動きがひきおこす影響(けいこう)。〔図例〕あおりにくる。●余波。●あおる。●煽る。〔動五〕①風が強くてふきつけて、物をはたはさせる。〔図例〕暴風(ぼうふう)にあおられて、うろたわなどて風を送り、火の勢いを強める。●おだてたり、そのかしたたり、いっそう勢いづける。〔図例〕競争心をあおる。人気があおる。●かきたる。●煽動(せんどう)。

あか(赤)〔名〕①血のような色。黄・青とともに三原色の一つ。●レッド。●スケレット。②朱色(しゆしき)も色だ。③だいい色なまをさうでいうことば。④交通信号で「危険」「とまれ」という意味を表わす色。⑤社会主義者や共産主義者(しやうしや)のことば。▽アカ

園圃「赤の他人」赤恥(しやうぢ)をかくなどの場合の「赤」は、よ目だつた、だれにもわかるほどはつきりしている、という意味を表す。

●例④はその使っている旗の色から出たもの。むかし、お

そろしいもの、危険なもの、どのような感じをこめて使ったの、いまだあまり使われない。

赤の他人(しやうぢ) なんのかかわもない、またくの他人。

あか(垢)〔名〕①皮膚(かわ)の表面にたまるよれ。〔図例〕あかたまる。あかをさす。あかを流す。〔図例〕あかじみる。手あか、耳あか。②水のなかにでるよれ。〔図例〕水あか。湯あか。③生活していくために、やむをえず出てくる、俗っぽいことば、つまらないこと。〔図例〕浮(うき)世のあかをとおす。▽アカ

あかあか(明)と赤赤と(副)①「明」と「月」の光を照明(しょうめい)によって、あたり一面がとも明るくなっている。〔図例〕部屋は一晩中明(あかり)と灯(あかり)がともっている。②「赤赤」と明るい赤色や入り日の光、火の燃えさか、いかに赤々(しやうしや)に見えるよす。〔図例〕赤赤と燃えさかする火。〔図例〕赤赤と日はれなくも秋の風(かぜ)。

あか(赤い)〔形〕①夕焼け空や血のような色をしていいる。〔図例〕赤いリンゴ。顔を赤くする。●だいたいの赤や茶色など、赤に近い色になっている。〔図例〕かきの実が赤い。かみの毛を赤く染める。●社会主義的または共産主義的な考えをもっている。→あか(赤)〔名〕

赤くなる。はすかし顔がさつかになる。●赤面する。

あか(赤目)〔名〕〔動物〕二枚貝の一種。海のどろのなかにいる。肉は赤くむき身にして、ほろで食べる。

あか(足)〔名〕(足)「赤い」も「かき」も、〔図例〕あかがとれ。①「身動(みどう)できない」。最後のあかき。〔図例〕あかがとれ。あかき(足)〔名〕冬、寒いとき、手や足にでる皮膚(かわ)の割目。〔図例〕あかがとれ。●ひび。

あか(足)〔名〕(足)「赤い」手足をばたばたさせても、あか(足)に足(あし)は、●困難(くわんなん)ののれよとして、結局は、むだなことをいう、いふやうでなる。〔図例〕こうなつてはもうあか(足)に足(あし)。

あか(赤)くなる。①「あか」の子項目

あか(赤毛)〔名〕かみの毛やからだの毛が、明るい赤茶色をしているもの。〔図例〕赤毛のツ(小説の名まえ)。

あか(赤子)のて(手)をひねる。抵抗力(たいりき)がでる、という意味を表す。●赤子(しやうし)は赤人(しやうじん)だ、たいた力(ちから)を使わずにでることを「赤子の手をひねるよなもの」



## あ

「赤子の手をひねるよりやさしい」といふ。

あかさび(赤さび) ①赤錆(名) ぬれたりしたために鉄などの表面に、赤茶色のさび。

あかし(証し) ①名 なに悪いことをしていないという証明。 ②図 身のあかしをたてる。

あかし(赤字) ①名 ①収入よりも支出の方が多いため、同図 赤字になる。 ②赤字を出す。 ③黒字。 ④印刷の校正で、誤りをなおすために書き入れる文字。 同図 赤字を入れる。

【参】①は、会計の帳簿(ちやう)で、支出が収入をこえるとき、赤字で記入するところからいふ。

アカシア ①名 ①植物。②オーストラリアやアフリカなどに多いマ科の樹木。③「ニエアカシア(ハリエンジュ)」のこと。 ④街路樹や庭木にする落葉高木。 初夏に、白い花が咲く。 ⑤acacia

あかし(赤潮) ①名 プラクトンが異常に発生して、海面が赤くなること。 魚や貝が死ぬので、漁業には大敵。

あ(趣)かして ①ありあまるものをふんに使って。 ②ひまにあかして旅行する。 金にあかして買ひあさる。 同図

あかし(赤信号) ①名 ①交通信号の一つ。 ②「危険をよそよそしい」の意味を表す赤色の信号。 ③危険な状態に近づいていくのを警戒(けい)しうという合図。 同図 赤信号が出る。 ④危険信号。 ⑤青信号。

あかす(明かす) ①(動五) ①かくしていたことを言う。 同図 たれを明かす。 秘密を明かす。 ②うら明ける。 ③一晩中寝ないで、朝をむかす。 同図 夜を明かす。 同図 語り明かす。 泣き明かす。

あ(趣)かす あきることなく。 いつまでもやにならずに。 同図 あかす見守る。

あかつき(暁) ①名 ①夜が明けかかるとき。 ②あけぼの。 夜明け。 ③期待していたことが実現する、そのとき。 同図 「成功のあかつきには、あらためてお祝いをいたしましょう」

【参】古くは「あけ」といって、「明かす」といって「あかるく」なっている時という意味。

あがつたり(上がつたり) ①名 ①仕事や商売が、まったくなくなった。 同図 雨で商売が上がつたり。 鉄分

あかつ(赤土) ①名 赤茶色で、なげけのある土。 鉄分

を多く含む、畑には適さない。

アカデミー ①名 ①学問や芸術の權威(けん)のある人を集めた団体。 ②学士院。 ③Academy

アカデミック(形動) ①学問的である。 同図 アカデミックなふんき。 ②academic

あかでんわ(赤電話) ①名 店先や駅などに置かれる赤色の公衆電話。

あかとんぼ(赤とんぼ) ①名 ①(動物)夏の終わりに、秋にかけてむらがつて飛ぶ、からだの赤い小さなトンボ。 日本

の秋を知らせるものの一つ。

あがなう(贖う) ①(動五) 罪のつぐないをする。 同図 罪があがなう。

あかぬける(あか抜ける) ①「垢抜ける」(動下一) 都会風(かいふう)に洗練(せんれん)されて、やばなところや素人(そじん)ぶりがなくなる。 同図 あかぬける

あかねいろ(あかね色) ①茜色(せきしき) ②赤い色。 同図 空があかね色にそまる。 は、夕焼けの空の形容にふさわしい表現である。

あかはじ(赤恥) ①名 ひどい恥。「あかつばじ」は強めた言い方。 同図 赤恥をかく。 ②大恥。

あかはた(赤旗) ①名 赤い布で作った旗。 ①紅白試合で、紅組(こうぐみ)の使う旗。 ②危険を知らせるために使われる旗。 ③革命(かくめい)派(は)労働者階級(ろうどうしやうてい)が使う旗。 同図 ①は源平合戦(げんぺいがっせん)のとき、源氏が白旗を、平家が赤旗を使ったことからいふ。 ②はフランス革命(フランスかくめい)のとき、革命派が人民の血に染ま(せん)った旗を革命のしるしとしたからいふ。 あはだか(赤裸) ①名 まったくなにも身につけていない。 生まれたままの姿。 また、毛をむられた動物のようすにもいふ。 すっぱか。 まるはだか。

あかひと(赤人) ①図 ひとまぶのあかひと

あかふだ(赤札) ①名 赤い色の札。 とくに、商品につけて、特価品(とくけひん)売約済(ばいやくしゅう)みの意味を表す赤い紙の札。

あかまつ(赤松) ①名 ①(植物)クロマツとともに、日本の本州でもっともよく見られるマツ。 常緑高木。 幹の表面が赤みを帯びている。 パルマや建築、船家具などの材料として使われる。 雌松(めまつ)。 ②くまつ 【参】

あかみ(赤み) ①名 ①どちらかというと赤く感じらる色合い。 同図 赤みがさす。 赤みおぼる。 ②アカミ

あかみ(赤身) ①名 肉や魚で、脂肪(じよう)の少ない赤い色のところ。 ②あから身。 白身。 ③アカミ

あがめる(崇める) ①(動下一) 神や仏をうやまう。

あかろが(赤ら顔) ①名 先祖をあがめる。 ②あかろ。 同図 神とあがめる。 先祖をあがめる。 ③あかろ。

あかろが(赤ら顔) ①名 ①緒(お)顔(が) ②名 なからあかろがにじみ出たような感じのす赤い顔。

あからさま(形動) ①かくしたくない、あまにしたりしておいた方がいことを、むきだしに言うようす。 同図 あからさまな非難(ひなん)。 あからさまに言う。 ②露骨(ろこつ)。

あからむ(赤らむ・明らむ) ①(動五) ①「赤らむ」少し赤くなる。 同図 ほんのりと顔が赤らむ。 ②「明らむ」実が熟(う)る。 同図 空が明(あ)る。 ③「明らむ」夜が明けて空が明(あ)る。 ④「明らむ」東の空が明(あ)らなう。

同図 「あからむ」は、色の変化によって物の性質が変(か)わって、ていどを表現(あらわ)すこと。 同じような言い方に、「し」

「あからむ」黒ずむ」などがある。

あからめる(赤らめる) ①(動下一) ①はすかきで顔を赤くする。 同図 顔をほっと赤らめる。 ②赤面する。

あかり(明かり) ①名 ①暗いなかでの光。 同図 明かりがさす。 明かりをとる。 ②光が入るようす。 同図 月明かり。 雪明かり。 ③電灯や火など、あたりを明るくするもの。 同図 明かりをともす。 明かりをつける。

あがり(上がり) ①名 ①上の方へ高くなること。 ②「図」ここから道が上(あ)がりになる。 ③物価の上(あ)がり下(さ)がりはけい。 ④下がり。 ⑤のぼり。 ⑥続いているのが終わりになると。 同図 今日(けふ)はこれ以上(これより)上(あ)がらない。 ⑦完了。 ⑧作つたものが完成すること。 また、その状態。 同図 カレーライス(カレーライス)が上(あ)がった。 ⑨上(あ)がりがきれた。 同図 でき上がり。 仕上がり。 ⑩完成。 ⑪得られた結果。 同図 今日(けふ)は店の仕上がり。 ⑫利益。 収益。 ⑬すし屋や料理屋で出すお茶。

【参】①他のことばのあとにつく、それがとも終わつたこととを表現する。 同図 雨(あめ)が。 湯(ゆ)が。 病(やま)み上(あ)がり。 ②職業や身分を表(あらわ)すことばのあとにつく。 ③その人の以前の仕事や地位を表(あらわ)す。 あまりいい感じのことばにはならない。 同図 軍人(いくさ)上(あ)がり。 やくさ上(あ)がり。

あがる(上がる) ①(動五) ①低いところから高い方(かた)へ動(うご)いて行く。 同図



